

P R E S S R E L E A S E

本リリースは本日7月7日(木)午後3時からの豊島区7月期記者会見でも配布されます。

東京芸術祭 2016 今秋 開催決定

豊島区 池袋エリアで舞台芸術フェスティバルを開催 新たな価値観をはぐくむ交流と参加の場に

東京芸術祭組織委員会(委員長:福地茂雄)は、2016年9月1日(木)から12月18日(日)の109日間、豊島区池袋エリアで東京芸術祭を開催いたします。

東京芸術祭とは

東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した、都市型総合芸術祭です。2015年3月に東京都が発表した「東京文化ビジョン」に掲げた8つの戦略を実現するための中心的な役割を担うプロジェクトとして位置づけられ、東京2020オリンピック・パラリンピック、さらにはその先まで、広く東京の魅力を伝え、新たな価値観をはぐくむ交流と参加の場を目指していきます。

舞台芸術祭から、はじまる

キックオフとなる2016年秋は舞台芸術フェスティバルを豊島区池袋エリアを中心に展開。「フェスティバル/トーキョー16」「東京芸術劇場<芸劇オクタームセレクション>」「としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム」「アジア舞台芸術人材育成部門」の4つの事業が集結し、先鋭的な演目や地域密着型・参加型作品など、多様なプログラムが初秋から冬の池袋/東京を彩ります。

開催概要

- 名称:東京芸術祭2016(英称:Tokyo Metropolitan Festival 2016)
会期:2016(平成28)年9月1日(木)～12月18日(日) 109日間
会場:東京芸術劇場、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、にしすがも創造舎、池袋西口公園 ほか
参加事業:フェスティバル/トーキョー16、芸劇オクタームセレクション、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、アジア舞台芸術人材育成部門
主催:東京芸術祭組織委員会
アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、アジア舞台芸術祭実行委員会



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre



公益財団法人
としま未来文化財団



※内容は都合により変更になる場合がございます。

<本リリースに関するお問い合わせ>

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 広報担当:森(隆)、圓城寺
TEL: 03-6256-8432 E-mail: press@artscouncil-tokyo.jp

CULTURE



TOKYO

P R E S S R E L E A S E

4つの事業紹介

● フェスティバル/トーキョー16

2016年10月15日(土)～12月11日(日)

同時代の舞台作品の魅力を多角的に紹介し、舞台芸術の新たな可能性を追求する国内最大規模の国際舞台芸術祭。2009年にスタートし、これまでに211作品、1649公演を実施し約47万人を動員、東京で開催される国際舞台芸術祭として定着している。9回目を迎える今年は2016年10月15日(土)～12月11日(日)までの58日間にわたって開催。ヨーロッパ現代演劇界の巨匠クリスチャン・ルパが初来日、代表作である『Woodcutters - 伐採 - 』を上演するほか、暗黒舞踏の源流ともなったドイツ表現主義舞踊の創始者の一人スザンネ・リンケが16年ぶりの来日を果たす。また、「アジアシリーズ」ではマレーシアを特集し、多様な民族、文化が混在する複雑な状況を反映した作品を紹介する。さらに“プロジェクトFUKUSHIMA!”による市民参加型イベントなど多彩なプログラムを展開する。

● 芸劇オータムセレクション

2016年9月30日(金)～12月4日(日)

東京芸術劇場の主催事業の中でも国際色豊かで、新たな表現の扉を開く4演目が東京芸術祭に参加。ダンスでは、新しいサーカス、ヌーヴォー・シルクをベースにした舞台作品で知られるカミュー・ボワテルの『ヨブの話—善き人のいわれなき受難 L'homme de Hus』、日本を代表する世界的なダンサー・振付家の勅使川原三郎と、ジャズミュージシャン・山下洋輔の共演による新作『UP(仮)』をラインアップ。また、演劇ではいま最も注目されている演出家・熊林弘高による『かもめ』が登場。満島ひかり、佐藤オリエ、田中圭、中嶋朋子、坂口健太郎ら出演者も話題。さらに野田秀樹芸術監督が1990年に自身の劇団「夢の遊眠社」のために書き下ろした作品を、アジアを代表する演出家の一人、シンガポールのオン・ケンセンが演出する『三代目、りちやあど』を上演する。

● としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム

2016年9月1日(木)～12月18日(日)

豊島区が誇る芸術・文化の魅力を世界に向けて発信し、まち全体が舞台の、誰もが主役になれる劇場都市「国際アート・カルチャー都市」を目指している豊島区は、次の3つのプログラムを展開する。中世日本で大流行した楽と躍りの芸能“田楽”をベースに、狂言師野村万蔵が演出する、街を舞台に繰り広げる野外パフォーマンス『大田楽 いけぶくろ絵巻』。『池袋演劇祭』は、9月の1か月間、豊島区及び近郊の劇場などで公演を行う劇団がエントリーし、公募による審査員によって演劇祭賞を決めていくユニークな演劇祭。また、フリーランスのダンスアーティストとして、ロンドンを拠点に20か国40都市以上で活動し、2012年、ロンドンパラリンピック開会式にパフォーマーとして出演した南村千里によるダンス公演が行われる。

● アジア舞台芸術人材育成部門

2016年11月18日(金)～11月21日(月)

アジアの若い演劇人が出会い、共同制作を行う場として2002年に始まった「アジア舞台芸術祭」が、東京芸術祭の人材育成プログラムとして位置づけられ、新たに「アジア舞台芸術人材育成部門」と名称を変えバージョンアップ。国際交流基金アジアセンターとの共催により、多彩なアーティストの参加が実現。プロデューサーの設定するテーマのもと、3名の演出家を中心としたグループがそれぞれ小作品を制作、発表する国際共同制作ワークショップに加え、ワークショップの成果を振り返り、広く共有する「ラップアップ」を新たにプログラムに組み込む。若手アーティストの可能性を開拓するとともに、東京の舞台芸術の現状と魅力を体感してもらい、国境を越えたネットワークをはぐくむプラットフォームを目指す。前年度のワークショップで制作された小作品をフルサイズ化させる国際共同クリエイションでは、『TERU TERU! 』(フィリピン)、『焦土』(台北)の2作品を上演。

東京芸術祭組織委員会事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1 国立能楽堂内 公益社団法人 国際演劇協会日本センター 気付
TEL:03-6388-0119 FAX:03-3478-7218 E-mail:info@tokyo-metropolitan-festival.jp